



ふくえいだより

題字：大崎在宅サービスセンター・金田 誠眞さん



写真▶（右回り）長寿を祝う会、炊き出し訓練、総合防災訓練、福栄会中庭イルミネーション

今号の主な記事

- 障害児者総合支援施設辞令交付 2
総合防災訓練 3

- ぶりすくーる西五反田運動会 4
新採用職員フォローアップ研修 5



品川区立障害児者総合支援施設設辞令交付

令和4年10月1日から、福栄会による品川区立障害児者総合支援施設（ぐるっぽ）の運営がスタートしました。

10月3日（月）、ぐるっぽ地下1階多目的室で辞令交付式を執り行いました。

前法人からの転籍者および障害児者総合支援施設開設準備室担当者、10月からの異動者や新採用職員を含め59名の職員に対し、西村理事長より辞令が交付され、訓示を受けました。

子どもの療育拠点および障害児者の地域生活支援拠点として、利用者や家族・地域の方々の期待の大きさを改めて感じると共に、より良い施設運営に向けて、質の高いサービス提供を実践してまいり（和泉）



月4日（土）に、千葉県の東金市にある「道の駅 みのりの郷 東金」に利用者7名、保護者2名、職員4名の計13名で外出行事を行いました。

当日は、まだまだ肌寒い天候でしたが、参加された皆さんの表情はとてもにこやかで、期待を胸に抱いて、いざバスに乗り込んでいました。

車中では、皆さん思い思いに「いちご狩り」への期待を膨らませている人や、久しぶりの遠方の外出で車の窓から流れる景色を堪能されている人など、それぞれの時間を過ごしていました。



たくさんの品種の中から好みいちごを見つけるため、持ちきれないほどの量で、食べ比べをしていました。

その後、隣接するレストランにて昼食を取りました。いちご狩り後の、お昼ごはん食べきれないのでは？と心配しましたが、心配するまでもなく、みなさんおいしく完食していました！



帰りのバスに乗り込み、地域活動支援センターまでのドライブを最後に堪能しました。皆さん疲れてしまつたのかウトウトと夢の中・・・あつという間に到着し、とても楽しい時間を過ごせました。皆さんの協力があり、思い出に残る行事が行えました。

今後も色々なプログラム企画してまいります。ぜひ、また参加してくださいね。（山本）





福栄会の新採用職員を対象に半年間の経験を踏まえ、同時に採用された各部署の仲間と意見交換を通して交流を深めることを目的に、令和4年度新採用職員フォローアップ研修を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、本部（11月10日）・西大井（11月1日）の各拠点に分かれて実施し、普段の業務の振り返りや感想を交えた自己紹介、同時期に採用された仲間と不安や疑問に思うこと、今後の目標などについて活発な意見交換ができました。また、西村理事長より、一人で抱え込まず、先輩職員や同期の仲間に相談しながら仕事を行うようアドバイスを頂きました。

(和泉)



皆さんで記念撮影



鈴木信平さんご挨拶

福栄会「長寿お祝いの会」は9月13日（木）中川東親会会長代行を来賓にお迎えして行われました。今回は百歳以上の方4名、卒寿（90歳）4名、米寿（88歳）1名と晴楓・東海両ホーム総計11名（昨年度13名）の皆さんに、西村理事長や中川東親会会長代行より品川区と品川区社協、東親会（地元町会）からのお祝いの品々（商品品券・カステラ等）が贈られました。

これに対し利用者を代表し、東海ホーム・鈴木信平さんにお礼のご挨拶をしていただきました。

皆様、おめでとうございます。（吉原）

8月23日（火）、品川佛教会のご協力により晴楓ホーム・東海ホーム物故者慰靈法要を執り行いました。当日は、残暑厳しい中、ご遺族にも参列いただきました。今回も、感染症対策で利用者さんの参列は、ご遠慮いただきました。

令和3年8月の物故者慰靈法要以降、今年7月までの1年間で亡くなられた方は、晴楓ホーム7名、東海ホーム4名の合計11名の方でした。

平成2年5月の福栄会開設以来、晴楓ホーム・東海ホームで亡くなられた方は575名となりました。読経法要の後、この1年間で亡くなられた11名の方の慰靈札を中庭の「福ちゃん」像の地下に安置しました。読経法要の後、この

（吉原）

物故者慰靈法要を
しめやかに執り行いました



